



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

平成 29 (2017) 年 11 月 28 日 第 9 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

笑顔と感動あふれる学習発表会

校長 中川勝美

今年度の学習発表会は、スローガン「皆で創ろう 笑顔と感動！」の達成を目標に練習に励んできました。とりわけ、「やるべきことを、本気でやる」ことをテーマに、学習発表会の練習を通して「一人一人の本気を自分でそしてチームで見つめ直し、一歩でも向上していく」指導に力を注ぎました。

全校朝会で元ブラジル代表であり、日本代表の監督でもあったジーコ氏の話をしました。そのジーコ氏が鹿島アントラーズに在籍していたとき、何度も言っていたのは「チームに献身であれ」、「自分に誠実であれ」、そして「仲間をファミリーと思い尊重せよ」という言葉です。ジーコスピリットと言われ、今でも鹿島アントラーズの魂として継承されています。



ジーコは貧しい家庭に生まれながらも、夢を追いかけ世界のトッププレイヤーになりました。どんなに才能に恵まれようと、大きな壁にぶつかることがあります。しかし、「信念と目標さえ持っていれば、どんな障害にも打ち砕かれることはない」とジーコは著書の中で語っています。

雑誌のインタビューで「楽しいという言葉の意味を誤解しないでほしい。人生は何かの目標に向かって、それを達成しようと懸命に努力するから喜びや楽しみが生まれてくる。サッカーも同じだ。一つでも上に行こうと全力を尽くす。これが一番充実感を得られること」と言っています。

選手が試合前によく「楽しみたい」と言っています。それは、「お気楽に本番に臨む」ということではなく、楽しむためにはその陰にギリギリまで鍛え上げた練習があることを想像してください。

学習発表会に向け、一人一人が本気になって少しでも向上するような「練習」に取り組んでください。そして、励まし合い・高め合うチーム力を発揮することを期待しています。ジーコ氏が言っています。目標を達成するためには、実行（ジーコ）あるのみ。

学習発表会で笑顔を大切に自分たちのみならず観客も感動させようと頑張っていた子供たちの姿には、学習発表会を成功させるために、練習での個々の努力、そして練習を通して目標に向かって仲間と共に汗を流していく中でそれぞれの想いが重なっていく、その過程があったことに思いを馳せていただければ幸いです。

来賓・保護者の皆様には、心温まる激励の拍手をいただきまして、本当にありがとうございました。さらには今年度も愛幼稚園様、ジョゼフィーナ校様、エフイジュニオサーレス日本語学校、西部アマゾン日伯協会日本語学校の皆様にご参加頂き、学習発表会を大いに盛り上げることができましたことに心より感謝申し上げます。



12月行事予定